



「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ

わたしの、大すきな本は少年探偵という本です。この本は、名探偵明智小五郎ごろうの助手がいて、その子は少年探偵団の一人の小林君で、はん人をつかまえてようとしますが、にげられてしまいます。でもびこうしたり二十面相にじゅうめんそうのしようたいをあばいたりして、探偵の弟子でしとしてしごとをします。もし、二十面相のすみかを見つけたらけいさつに電話をして、はん人をつかまえた後に、けいさつの一審いちしんえらい中村けいさつから商品や、表彰状じょうしょうじょうをもらいます。少年探偵団の小林君は、少年探偵団のだんいんです。リスのようにすばしっこいんです。二十面相も小林君が、いることを分かっていたり、知らなかったりします。わたしが、二十面相がすごいと思った所はまじゆつを使って世界せかいをさわがせるということです。わたしが一番いちばんこわくて、おもしろいと思った本は、『とうめいかいじん』という題名だいめいの本です。読むきかいがあれば、一かんから読んでみて下さい。



(出版社：ポプラ社)

本の名前

少年探偵七 透明怪人

本を書いた人

江戸川乱歩

小林少年が全シリーズでかつやくするよ。

トリックもアツとおどろくものばかり！ 二十面相とのかけ引きもたくみでストーリーに引きこまれるよ。

